

似た者同士？ミョンジクさんと私

(明るく元気で人情深い人)

D グループ・菊地礼華

1. ミョンジクさんの印象

私が最初、ミョンジクさんについて持った印象は、まず、奇抜でお洒落な人だということです。初対面の時は、少しくールな人なのかなという印象を受けました。しかし、自己紹介や、異文化について話し合う時には、積極的に自分の意見を述べてくれて、とても明るく、ハキハキとした人なんだなあという印象に変わりました。そして、K-POPが好きということで、気の合う人という印象を受けました。一緒のものを共有できた喜びの中に、親密度がぐっと深まった気がしました。そして、徐々に授業の回数を重ねていくうちに、学校生活の中でも挨拶を交わしてくれるようになりました。私はそれがとても嬉しく、ミョンジクさんは、私より年上ですが、とても気さくで明るく、素直で、純粋な性格だと思いました。そして、気のおける優しいオッパ（お兄さん）の印象が強くなりました。散歩の活動を通して、カップ寿司に食事に行った際には、学校から目的地までの案内をしてくれて、地元民の私よりも地理に詳しいのではないかとおもう程の正確さに驚きました。そこでの会話の内容は、私にとってとても刺激になる話ばかりで、価値観の同じ一人の人間として本当に尊敬できると深く感じました。これまでの活動の中で、自分と同じような趣味を持ちながらも、しっかりとした考えを持ち、明るく社交的な人物であるという印象を強く持ちました。

2. 特に聞きたいテーマ：人との関わり方について

私は、ミョンジクさんに聞いてみたいことのテーマとして、人との関わり方について深く聞きたいと思いました。ミョンジクさんは、とても義理深く、人情の厚い人だという印象を受けました。元気で明るく、誰とでも仲良くできるという点では、私と似たようなところがある印象を受けます。しかしながら、私はミョンジクさんのように他人に深く優しくできるのか、家族や周りの人に対して愛情を持って接しているのかというと、そうではない気がします。私にとって彼は人間として本当に尊敬のできる人物として一目置いた存在でもあります。また、自分に近い親近感の持てる存在でもあります。それ故に、自分とどこが違うのか、人間関係に対してどのように気を使っているのか、また、どのように考えて人と接しているのかを深く聞くことで、自分の価値観の変化や、視野の広さ、これからの私の人生において、少なからずプラスになるものを得ることができるとような気がしました。

3. 話し合いの結果

3.1 5月30日の話し合い

この日は、それぞれパートナーを決めて話し合う日の初日でした。私たちのグループは何故か最初からすごく打ち解けて、仲が良かったので、その中で二人でペアになってお互いのことを調べるとい活動も、とてもすんなり活動することができたと思います。私は、その中でもミョンジクさんについて調べることになりました。最初はテーマが思いつかず、趣味について皆で話すうちに、相手のことを少しずつ知っていこうと思っていました。最初は、旅行の話になり、夏休みでどこに行きたいかを話すことになりました。ミョンジクさんは、「夏休みが来たら、韓国に帰る。」と話していて、やはり、自分の国が大好きなんだなあ実感しました。また、彼女と一緒に帰るとい話をしていたので、彼女の事も大好きなんだなあと思いました。結果としては、確実なテーマを決めるには至りませんが、最初の相手のことを少しでも知るとい活動にしては、いろいろなことを知ることができたと思います。

3.2 6月6日の話し合い

この日は、もっと詳しく相手の趣味について探ろうと思いました。まず、「音楽が好き」「特に K-POP、BIGBANG が好き！」と言っていたのを思い出して、どんな音楽を聴くのどれくらい聴くの？それはいつ聴くの？と焦点化して質問していききました。ミョンジクさんは、「音楽はいつも聴いている！お風呂に入るときも、皿洗いしているときも、レポートをするときも、通学の時も・・・」と言っていました。私も、いつも音楽は身近にある人間なので、音楽が大好きなところは似ているなあと感じました。また、映画の話になると、「俺はホラーが大好き！」と言っていて、涙もろいことや、刺激的なことが大好きなようでした。私も、ホラーが大好きで涙もろく、絶叫系アトラクションも大好きだったので、ますます親近感を持つことができました。そして、携帯電話をお風呂場に持ち込む性格も、私と似ていて、びっくりするほど似た者同士だなと感じることができました。最初から、音楽の趣味も、服の趣味も、私と同じような感性を持っているなあと思っていましたが、ここまで気が合うとは思っていなかったなので、ますます興味が出てきて、もっとミョンジクさんのことを知ってもっと仲良くなりたいなあと思いました。

3.3 6月20日の話し合い

この日は、本当に聞きたかった人との関わり方についていろいろ探りました。特に、家族や友達との関わり方について聞きたいと思いました。ミョンジクさんは、小さい頃から家族に愛されて育ってきたように感じました。お父さんはポジティブでユーモアのある自由な人で、お母さんは反対に堅実で真面目な、一本筋の通ったしっかりした人だと言っていました。お兄さんもお姉さんもとても優しく、ミョンジクさんにとってはかけがえのない存在だと言っていました。その話を聞きながら、私は、ミョンジクさんが心から家族を愛しているんだなあ実感しました。また、ミョンジクさんの家族も、ミョンジクさんの

ことを深く愛しているんだなあと思いました。私は、両親には感謝はしていますが、そこまで深く愛すことはできていないと思います。ミョンジクさんは、父親に「お前は駄目だ」とか「～～しなさい」などと、否定されたり怒られたことはないと言いました。その分駄目なことは駄目と母親が叱ってくれたと言いました。私は、ミョンジクさんの両親はとても素晴らしいと思いました。だからこそ、人として尊敬できる部分がミョンジクさんにはあることに深く納得しました。ミョンジクさんの今までの友達との経験を聞いて、普通の人なら相手に不快感を持ったり冷たくなってしまうような場面でも、ミョンジクさんはいつも通り優しく相手に接していたと言います。私は、それはなぜ？と聞くと、「その人が、そういう人だってわかってたから。」と言いました。私は、ミョンジクさんが彼の価値観で人の性格や、それが悪い、良いなどと判断していないことに気が付きました。私は、本当に出来た人間だなあと感心しました。その一方で、親友と呼べる人間には、より多くの愛情を注ぐ性格は、私の想像よりも遥かに器の大きい、優しく明るい人だなあと感じました。

4. まとめ

ミョンジクさんは、私が予想していた以上に人情深く、思慮深い人だということがわかりました。また、いろいろなことを考えてなおいつもニコニコ笑っている姿を見て、私も彼のような人間になりたいと深く思いました。

5. 1 文化、コミュニケーションとは何か

私は、文化というものは、その人自身だと思います。その人の中に蓄積された経験、あるいは考え方、嗜好、癖、すべてがその人を成している大切なものであり、その人の中にしかないものだと思います。私は、一言でこの人はこんな人、と言えることは滅多にないと思います。人は、よくその人の一面のみを見てすべてを見たように感じますが、それをすべてだと思うか、こんな一面もあると考えるかによってその人との関わりに大きな変化があると思います。他者との関わりにおいて、この人について知ろうと思った時、「この人にはどんな文化があるのだろうか？」という風に考えると、その人の多様な面を文化として受け入れることができると思います。また、それを行う際にとるコミュニケーションは、相手に対して興味を持ち、知ろうという意思を持ってこそ成り立つものだと思います。

2. 授業を通して

私は、この授業を通して、沢山の新しい考え方を学ぶことができました。元々国籍関係なしにその人について深く知ることができる授業としてこの授業を希望しましたが、その希望が大きく叶えられた時間だったと思います。なかなか、違う国籍を持つ人とこのよう

に定期的に会って、個人的な話をする機会はないので、とてもいい経験になったと思います。そして、その中で、自分の考えが伝わる、同じような価値観を持つことができる、また、違う価値観にも触れられる、それを通してお互いを受け入れることができるといった経験をする事ができて、とても楽しい授業だったと思います。